家族史Ⅱ

科目ナンバリング　JPH-242
選択　　2単位

宮川　麻紀

1. 授業の概要（ねらい）

本講義は、家族史Ⅰと対になり、日本の家族のあり方を学ぶものである。時代としては主に中世・近世・近代を対象とする。

現代社会が抱える問題の一つに核家族化や少子化といった家族の問題が存在するが、そうした問題を考える前提として、各時代における家族のあり方をみていく。現代の家族のあり方は必ずしも自明のものではなく、各時代の家族構成や人間関係はその時代特有の価値観や風潮と結びつきながら、政治や文化に大きな影響を与えていったことを学んでもらいたい。

2. 授業の到達目標

①各時代の家族のあり方について理解する。
②家族のあり方が政治や文化にどのような影響を与えたか考察できるようになる。
③現代の家族のあり方や価値観が自明のものでないことを理解できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

(1)小テスト2回　40%（各回20%）
(2)期末テスト1回　60%
いずれも到達目標①～③を考慮。持ち込み不可。
ただし、出席回数不足や授業態度も考慮に入れるので、注意すること。

4. 教科書・参考文献

参考文献
関口裕子ら　『家族と結婚の歴史』（1998年）　森話社、2000年
『日本家族史論集』全13巻など、授業で紹介する。　吉川弘文館、2002～2003年

5. 準備学修の内容

・プリントをよく復習し、重要語句の意味や時代による変化をおさえる。
・分からない部分や欠席した部分は、参考文献を読んで理解しておくこと。
・小テスト2回の範囲は期末テストにも含まれるので、復習し直すこと。

6. その他履修上の注意事項

・出席回数が足りていても、テストの点が悪ければ単位修得できない場合がある。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
・家族史の概説
・授業内容と評価方法の説明
【第2回】　講義　古代家族から中世家族へ
・古代の氏族概念から「家」観念への変化
【第3回】　講義　中世の「家」
・「家」の構成員や財産、名について
【第4回】　講義　中世の結婚と離婚
・結婚の決定方法や儀式、結婚後の住居
【第5回】　小テスト①　2～4回の内容のテスト
講義　中世の相続
【第6回】　講義　中世の公家の「家」
・婚姻のあり方や居住形態の変化
【第7回】　講義　中世後期の主婦権
・「主婦」の誕生
【第8回】　講義　中世の乳母
・乳母の権限
【第9回】　講義　「家」を形成しない女性
・中世の「家」からはみ出した人々
【第10回】　小テスト②　5～10回の内容のテスト
講義　近世の結婚
【第11回】　講義　近世の家族
・近世的「家」の構成員と子育て観念
【第12回】　講義　近世の離婚
・離婚手続きと男女の差
【第13回】　講義　近世の相続
・主従関係の変化
・相続のあり方
【第14回】　期末テスト　2～13回の内容のテスト
講義　近世の支配と「家」
【第15回】　講義　近代の家族
・民法改正
・結婚の変化